



# 2025年

# 新年のご挨拶

## 共創で刻む新たな歴史

新年明けましておめでとうございます。2025年の新春を皆様とともに迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。昨年は、市制施行85周年、十王町との合併20周年という、本市にとりまして節目となる記念すべき年でありました。

その中で、4月には、(株)日立製作所とのスマートシティ構築を目指す「共創プロジェクト」やまちづくりへの市民参加を促すコミュニティ通貨「まちのコイン」をスタートさせるとともに、11月には本市初となるフルマラソン大会「ひたちシーサイドマラソン」を開催するなど、将来につながる新たな取組を進めることもできました。とりわけ、ひたちシーサイドマラソンにおきましては、大会スタッフ、ボランティアはもとより、沿道では多くの市民の皆様がランナーに温かい声援を送ってくださったなど、本市をあげて盛大に開催することができました。これは大きな喜びであり、本市の秋冬の一大イベントとして定着させていければと考えております。

さて、本年は、将来のまちづくりの道標となる総合計画の前期基本計画が4年目を迎えるとともに、現在策定中の第3期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタートする年でもございます。

頻発化・激甚化する自然災害、終わりの見えないエネルギー価格や物価の高騰、深刻な少子高齢化など、地域を取り巻くさまざまな課題が山積する中でも、市政運営の4つの柱

## 年頭にあたって

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より、本市議会の運営に多大なご支援、ご協力を賜り、議会を代表して深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、本市の市制施行85周年、旧十王町との合併20周年、山形県山辺町との友好都市提携20周年という記念すべき年を迎え、さまざまなイベントや式典を通して、市民の皆様と共に祝いすることができ、これまで築き上げてきた歴史や文化、人とのつながりの大切さを再確認することができた一年となりました。中でも、11月に開催した本市初のフルマラソン大会「ひたちシーサイドマラソン」では、全議員が実行委員として運営に携わり、市民ボランティアと共にランナーへの給水対応や沿道で応援を行うなど、まち全体で大会を盛り上げた、地域の絆を深める素晴らしい機会になったと実感しております。

また、本市議会の議会改革の取組として、常任委員会ごとに市の抱える課題からテーマを選定し、議員間での討議を実施しました。課題解決に向けた関係団体との意見交換



日立市長  
小川 春樹

である、市民の皆様への命と暮らしを守る「安全・安心のまちづくり」、将来を担う若者・女性の活躍や子育て支援日本一を目指す「地方創生・人口減少対策」、県北地域の中心都市としての「都市力の向上」、そして、デジタル化、脱炭素社会の実現や人づくりを目指す「持続可能なまちづくり」を、着実に進めてまいります。

また、国道6号及び国道245号久慈大橋4車線化など、本市発展を支える幹線道路の整備促進をはじめ、常陸多賀駅周辺地区整備の推進や、市民運動公園野球場再整備、北部消防署庁舎整備など、取組中の事業をさらに推進してまいります。

先行きを見通すことが難しい現代社会にあっても、「ひたちらしさ」を更に際立たせながら、未来に夢や希望を持ち、安心して健やかに暮らすことができる、元氣と魅力あふれる日立市を、これからも皆様と共に創ってまいります。と考えておりますので、引き続き温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、健康で幸多き一年となりますよう、心からお祈りいたします。

や先進事例調査などを基に、議員間での討議を重ね、当該課題に対する政策提言書を取りまとめ、市長へ提出したところであります。

本市議会といたしましても、本市における全ての世代の方々が未来に夢や希望を持ち、安心して健やかに暮らすことができるよう、そして、誰もが幸せを実感できるまちづくりの実現のために、議員一同、日々研鑽を重ね、市民の皆様からいただいたご意見をしっかりと市政に反映させてまいります。引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は、乙巳であり、再生や変化を繰り返しながら発展する年であると期待されております。市民の皆様にとりまして、本年が実り多い飛躍の一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



日立市議会議長  
蛭田 三雄